

2019年度第3四半期連結決算について

(注1) 2019年4月1日に、東京電力フュエル&パワー株式会社および中部電力株式会社の既存火力発電事業等を当社に統合いたしました。この統合の結果、2019年度第3四半期連結決算の値は、従前より大きく変動しております。

(注2) 資料内の「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。「3Q」表記は4月から12月までの期間を指します。

2020年2月14日
株式会社JERA

連結損益計算書

(億円)

	2019/3Q(A)	2018/3Q(B)	増減(A-B)	増減率(%)
営業収益 (売上高)	24,464	20,421	4,043	19.8
営業利益	1,676	60	1,615	2,654.7
経常利益	1,793	300	1,492	495.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,578	220	1,358	617.1

連結貸借対照表

(億円)

	2019/3Q(A)	2018年度(B)	増減(A-B)	増減率(%)
資産	38,602	12,574	26,027	207.0
負債	22,631	6,443	16,188	251.3
純資産	15,970	6,131	9,838	160.5
有利子負債残高	15,127	3,578	11,549	322.8
自己資本比率(%)	39.8	45.0	▲5.2	

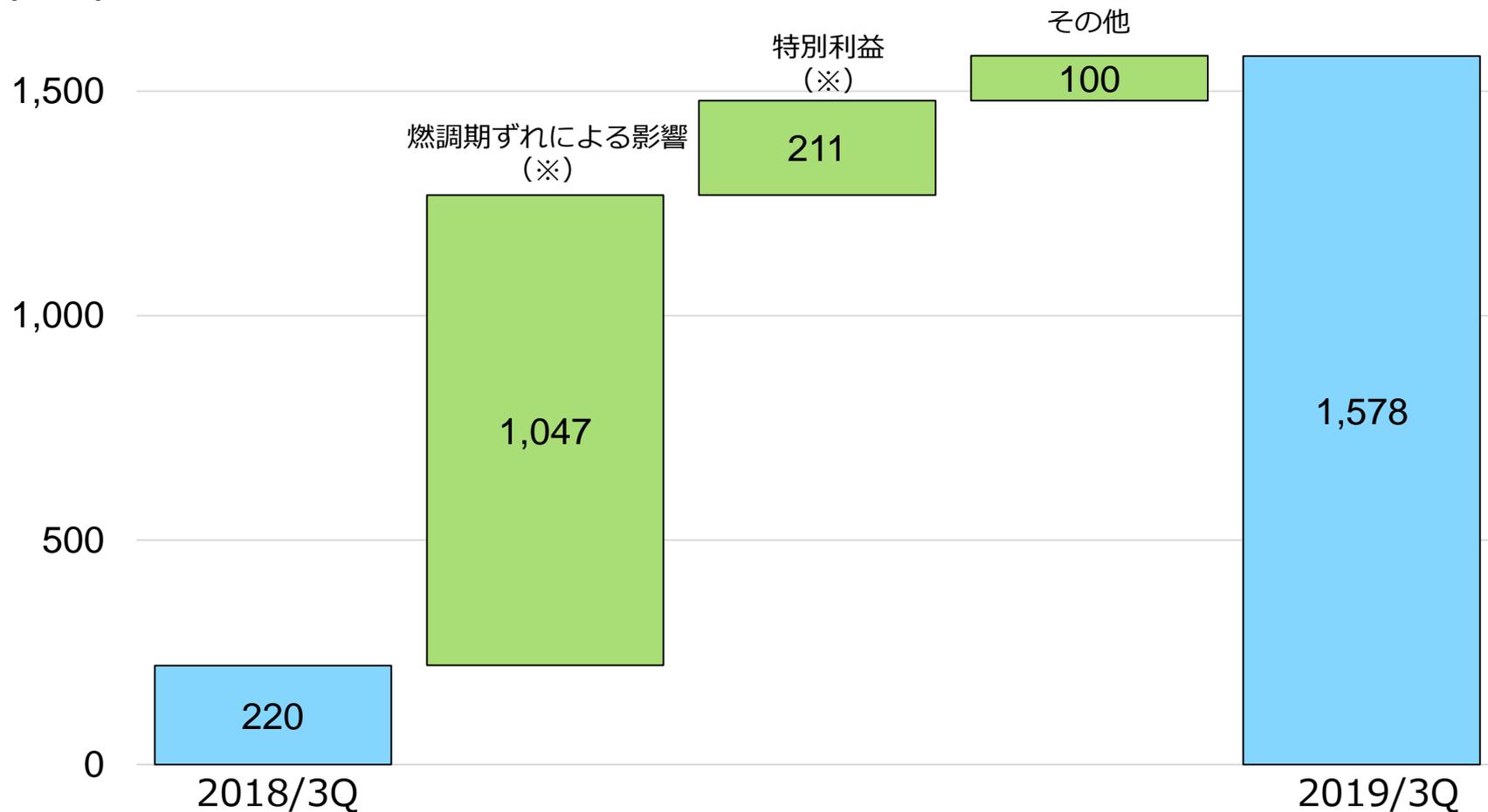
決算ポイント

■ 2019年度第3四半期決算のポイント

- 連結売上高は、既存火力発電事業等の統合などにより、前年同期比19.8%増の24,464億円。
- 経常利益は、燃料費調整制度の期ずれ差益などにより、前年同期比495.9%増の1,793億円。
- 純利益は、燃料費調整制度の期ずれ差益に加え、海外発電案件の売却に伴う特別利益が発生したことなどにより、前年同期比617.1%増の1,578億円。

【連結純利益の変動要因】

(億円)



※税引前の影響額を記載している

連結収支比較表

(億円)

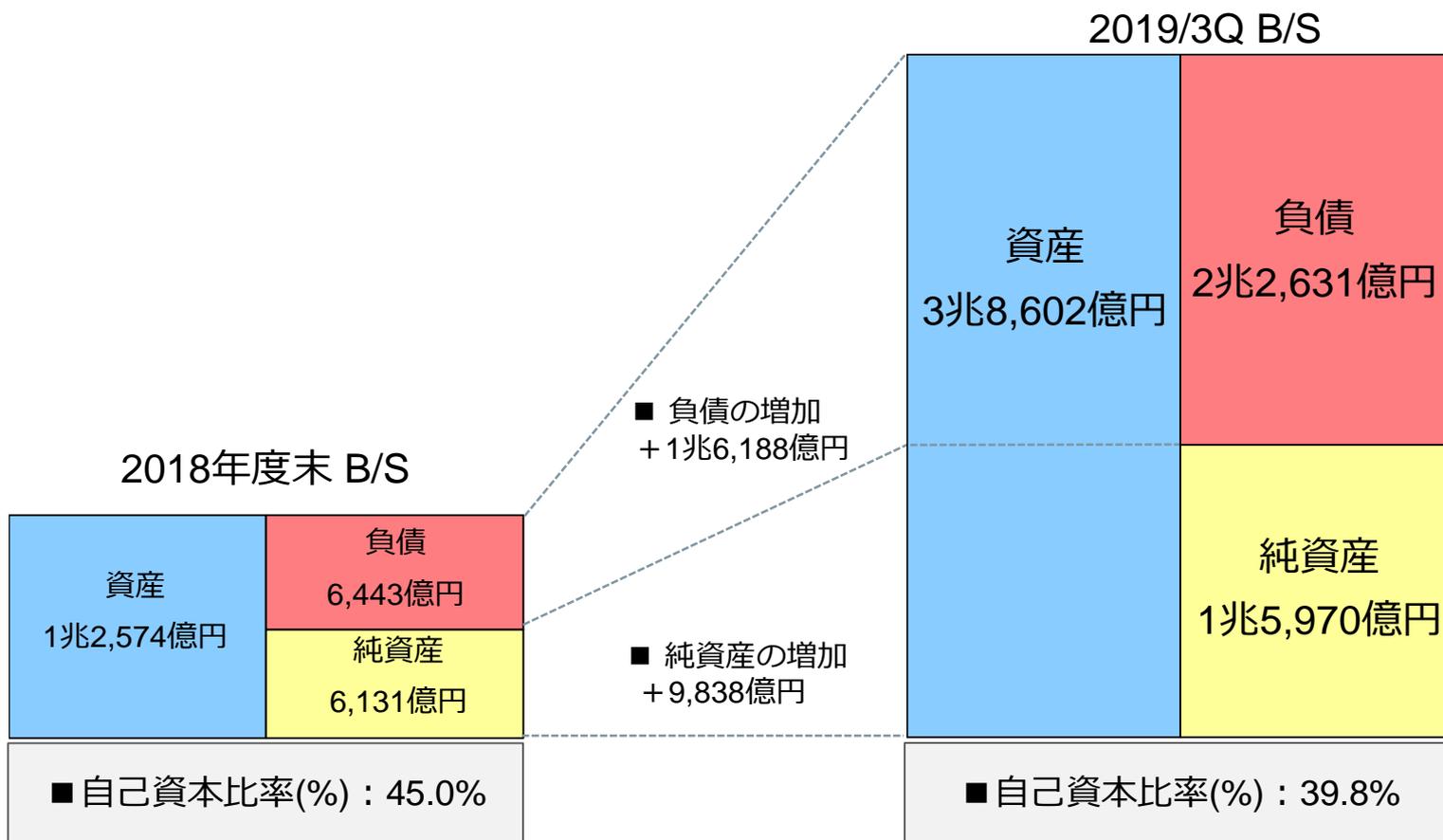
	2019/3Q(A)	2018/3Q(B)	増減(A-B)	主な増減要因
営業収益 (売上高)	24,464	20,421	4,043	・ 既存火力発電事業等の統合
営業費用	22,788	20,360	2,428	・ 既存火力発電事業等の統合
営業利益	1,676	60	1,615	・ 燃調期ずれ差益
営業外収益	233	265	▲32	
営業外費用	116	24	91	・ 支払利息の増
経常利益	1,793	300	1,492	
特別利益	211	-	211	・ 海外発電案件の売却益
法人税等	308	43	264	
非支配株主利益	117	37	80	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,578	220	1,358	

	2019/3Q
販売電力量 (億kWh)	1,977

	2019/3Q(A)	2018/3Q(B)	増減(A-B)
原油価格(JCC) (\$/b)	67.8	75.0	▲7.2
為替レート (円/\$)	108.7	111.2	▲2.5

連結財政状態

- 資産残高は、統合に伴う有形固定資産の増加などにより+2兆6,027億円
- 負債残高は、統合に伴う有利子負債の増加などにより+1兆6,188億円
- 純資産残高は、資本剰余金および利益剰余金の増加などにより+9,838億円



格付取得状況

【格付取得状況（長期発行体格付け）】

S&P	R&I	JCR
A-	A+	AA-

(億円)

		燃料事業※	海外発電事業	国内火力・ ガス事業	調整額	連結財務諸表 計上額
2019/3Q	売上高	6,319	16	21,861	▲3,732	24,464
	セグメント利益 (純利益)	250	326	1,170	▲169	1,578

※燃料上流・輸送・燃料トレーディング